

「宝塚なんて」という人のための宝塚歌劇入門講座 02



©細川紹々

「祝祭劇」としての宝塚歌劇

(1) 自律的芸能としての宝塚

自律的芸能：autonomy：auto（自分）＋nomos（法）

他律的芸能：heteronomy：hetero（他、異なった）＋nomos（法）

(2) 祝祭劇とは

祝祭の際に行なわれる演劇。古代ギリシアにおけるディオニソス神の祭礼としての演劇上演など

祝祭＝人間が真に自己の生を演劇化する場（『記号と夢想—演劇と祝祭についての考察』アルフレッドシモン）

(3) 祝祭劇にはどのようなものがあるか

『オルフェオ』モンテヴェルディ

『ニーベルンゲンの指輪』ヴァーグナー

『パルジファル』舞台神聖祝典劇：ヴァーグナー

祝祭劇場

バイロイト祝祭劇場

欧州各地の祝祭劇場

能舞台

(4) 祝祭劇に対する疑問

《祝祭劇への疑問（平田オリザ）》ハレとケ

「単調な日常からくる旧来のストレス」ではない現代の「都市のストレス」は、「従来の単なる発散型の祭りだけでは解消できない」（平田 1997： 38）

《神聖演劇への疑問（ピーター・ブルック）》

<退廃演劇><神聖演劇><野性演劇><直接演劇>

たとえ演劇の起源が目に見えるものを肉化せしめる祭儀にあったとしても、忘れてならないのは、東洋のある種の演劇をのぞけば、そういう祭儀はすでに失われてしまったか、無残に落ちぶれているという事実である。（略）

そこで芸術家たちは、ときおり自分の想像力だけを頼りにして新しい祭儀を見つけ出そうと試みる。彼は異教的ないしバロック的な儀式の外形を真似る。そして残念なことに自分独特の小道具をつけ加える…ますますひよさに、ますます水っぽくなってゆくイミテーションを長年見せつけられたおかげで、わたしたちはいまや神聖な舞台という考え方そのものさえ受けつけなくなりかかっている。

神聖なるものが子どもをいい子にしつけるための中産階級の道具になってしまったからといって、それは神聖なるものの罪ではないのだ。

退屈きわまる感傷性と、もったいぶった自己満足がほとんどあらゆる価値を埋めつくしていた。

（５）自律的祝祭としての秘儀参入

秘儀参入と変容

《エレウシスの秘儀》

女神デーメーターとペルセポネー崇拝のために伝承されていた祭儀。

冥府から地上に帰還するペルセポネー：死と再生の神

世代から世代へと受け継がれる「永遠の生命」を象徴

入信者たちはこの密儀によって「死後に幸福を得られる」と信じていた

「密儀にあずかる人々は生命の終わりとう永遠について喜ばしい希望を持つようになる（修辞学者イソクラテス）」

「（密儀を見たものは）生命の終わりを知り、またその始まりを知る（古代詩人ピンダロス）」

「これらの密儀を見た者だけが冥府で真の生命を得る（悲劇詩人ソポクレス）」

「この密儀によって我らは野蛮で獰猛な生活様式から抜け出し、教育を受け、文明の状態にまで洗練されることができた。その儀式は「伝授」と呼ばれ、究極の真理であり、我らはそこから人生の始まりを学び、幸福に生きるのみでなく、望みある死を迎える力を得る（キケロ）」

《密義と秘密》

入信者は密儀の内容を公開しないよう守秘義務が課され、厳格に守られた。

密儀の内容を漏洩した罪によりメロスのディアゴラスは死刑を宣告された

小密儀、大密儀（テレタイ）、奥義（エポプテイア）

キュケオーン「私は断食し、キュケオーンを飲んだ。私は箱から取った。この技を終えて再びそれを籠の中に置き、そして籠から箱へと入れる（ギリシア教父アレクサンドリアのクレメンス：大密儀）」

ヘラクレスの12の試練

《ディオニソスの秘儀荘の壁画》

ディオニソスの儀式：女性のための秘儀

拷問（鞭うち）と変容

ディオニソス教とオルフェウス教

『魔笛』モーツァルト

フリーメイソンの儀礼

通過儀礼の入り口まで導くための第1幕

通過儀礼の次第

象徴的な死「最初の気絶」

さまざまな誘惑

試練の許可

作業の厳粛な開始「静かな歩行」

反省の部屋：目隠し。放置。哲学的誓約。

儀礼の試練

沈黙

四大元素による浄化

大地

空気

火

水

『ニーベルンゲンの指輪』

序 夜 『ラインの黄金』

第1日 『ワルキューレ』

第2日 『ジークフリート』

第3日 『神々の黄昏』

『パルジファル』

聖盃と聖槍

「共苦して知に至る、汚れなき愚者を待て」

「ここでは時間が空間となる」

『翁』 → 脇能以下の能として

(1) 総序

(a) 笛の前奏（座着キ）

(b) 司祭役（大夫）の呪歌（どうどうたらり）

(2) 白キ翁

- (a) 若者の前奏舞（露払イの舞）
- (b) 白キ翁の祝言（謡）
- (c) 白キ翁の祝舞（天地人の舞）

(3) 黒キ尉

- (a) 若者の前奏舞（揉ノ段）
- (b) 黒キ尉の祝言（問答）
- (c) 黒キ尉の祝舞（鈴ノ段）

大嘗祭

上帝祭祀（殷：古代中国）

或ひと禘（てい）の説を問ふ。子曰く、「知らざる也、其の説を知る者の天下における也、其れ諸（これ）を斯（ここ）に示すが如きか」と。其の掌を指す。（『論語』）

(一) 準備

- (A) 時季
- (B) ト問
- (C) 「土」を築く
- (D) 「田」を作る
- (E) 「邑」を作る

(二) 招神と供犠

- (A) 降雨の待望
- (B) 諸先王への祭祀
- (C) 四方の土への瘞（療）祭
- (D) 酒礼と招神
- (E) 方帝
- (F) 供饌
- (G) 将の儀礼

(三) 藉田

- (A) 黍
- (B) 灌

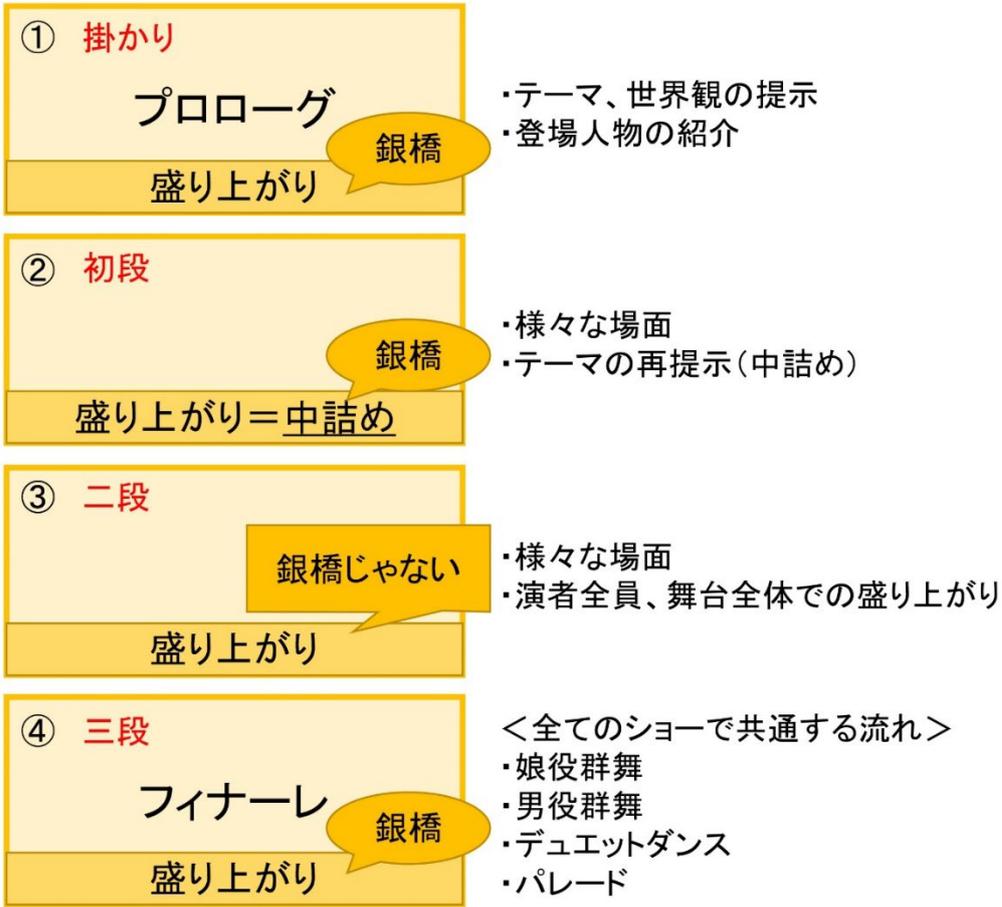
(6) 「推し」について

恋愛と比較して虚しいものと見るむきもありますが、推しは「私が愛していること」を原則として喜んでくれるところが、精神安定のセーフティーネットになっています。安心して愛し尽くせるのです。

先日、女子会で推しの話になったとたん、明らかに表情が豊かに、肌まで美しく見えたママ友がいました。推し活は、美容効果というか自分磨きにもつながると思います！

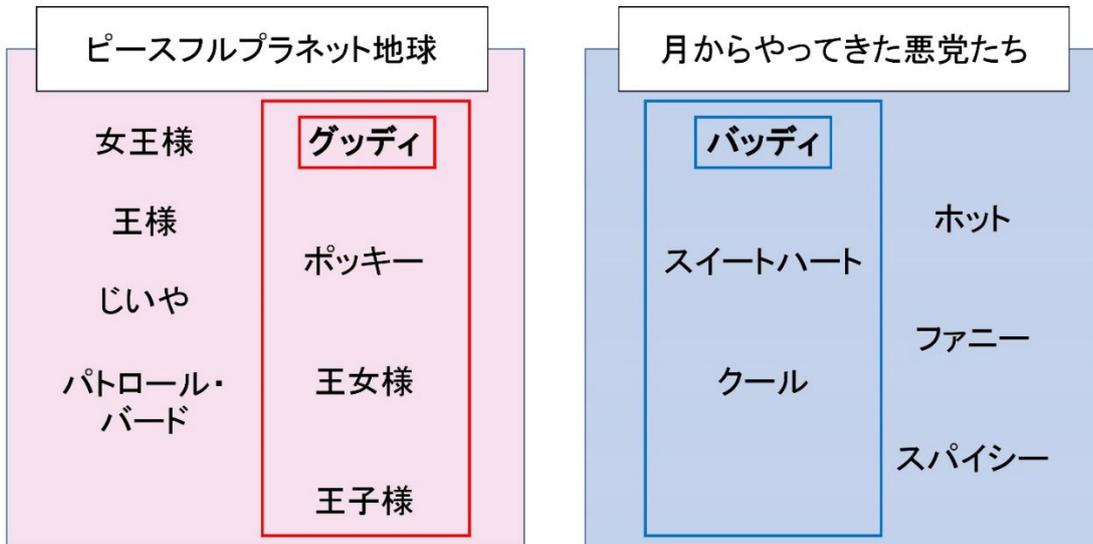
ショーの構造と BADDY

ショーの構造



※どこかにロケット

《BADDY》上田久美子



『BADDY』のシーン

S 1 TAKARAZUKA-CITY 『ピースフルナイト～ピースフルプラネット地球』

- ・王族たちによる世界観の提示
- ・グッディの登場（トップ娘役）

「私の故郷カタルーニャの鳥はピース、ピースと鳴くのです」カザルス

S 2 バッディ着陸『悪党は月からやって来る』

- ・バッディの登場（トップスター）
- ・スイートハートとクール

S 3 ポッキーの片思い

S 4 A レストラン “ブルーラグーン” 『恋の食い逃げ事件』

S 4 B 『恋の鎖』

S 5 A バッディのアジト 『スイートハートの嘆き』

S 5 B バッディのアジト 『恋のレッスン～デンジャラスな男になるために～』

S 6 A カオスパラダイス

S 6 B 『ポッキーの悪事～バッディ覚醒～』

S 7 『ビッグシアターバンク式典舞踏会』

S 8 グッディの怒り

S 9 A バッディのアジト 『悪の華』

S 10 『ピースフル・パラダイス』

- ・男役群舞＋娘役
- ・デュエットダンス
- ・パレード